

DR.YOKO's Cafe

体にちょっと優しいお話し

健康づくりで気をつけたいポイントや病気の予防方法をお伝えします。

今月のテーマ

コロナ禍で健診・検診、忘れていませんか？

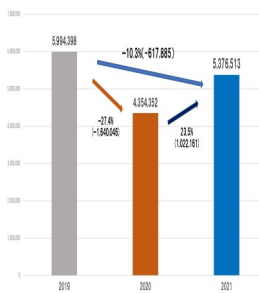
新型コロナウイルス感染症への感染リスクの懸念から、健康診断の受診控えが続いています。自覚症状が表れにくい病気は少なくありません。2人に1人はかかると言われている「がん」も早期がんでは無症状であることがほとんどです。過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。定期的に健診・検診を受けることが生活習慣病予防やがんの早期発見・早期治療につながります。今月は、改めて自分の体を知る一歩として健診・検診の重要性を紹介いたします。



新型コロナウイルス流行前より10.3%下回る

新型コロナウイルス感染症の影響で受診者数が落ち込んでいるがん検診の状況を把握するため、日本対がん協会は2021年に実施したがん検診の受診者数についてアンケート調査しました。国内で感染拡大が始まった2020年の受診者数と比べて23.5%増と回復しましたが、コロナ流行前の2019年を10.3%下回っており、コロナ禍の影響が未だ続いていることが分かりました。

受診者数の推移 (5がん検診計、延べ人数)



あなたが受けたのは「健診」それとも「検診」？

「健診」と「検診」は読み仮名は同じ「ケンシン」ですが、意味が違うことはご存知ですか？

働く人を対象に行われている健康診断、略して「健診」は、**将来の脳卒中や心筋梗塞などの重篤な病気への進展を予防するための定期的な検査**です。

「健診」では異常が指摘された場合、すぐに対応しないといけない場合は限られたケースで、期間を決めて自力で生活改善に挑戦するなどの対応で良い場合もあります。

一方、「検診」は胸部X線による「結核検診」や「がん検診」を指します。これらは**特定の病気を調べるもの**で、異常が指摘された場合には、必ず病院に行って、医師に精密検査・診断をしてもらう必要があります。残念ながら「がんの疑い」を自力でなんとかすることはできないのです。



健診・特定健診

現在の健康を確認し、将来病気にかかるリスクを調べる。

例) 血中脂質検査、肝機能検査、血糖検査など



検診

今、特定の病気にかかっているかどうかを調べる。

例) 胸部X線検査、胃部X線検査、婦人科検査など



コロナ禍でも健診は必要

日本対がん協会は引き続き「**コロナ禍でもがん検診は必要です**」とメッセージを強く発信しています。上記の調査結果から、2020年に受診を控えた人のうち、相当数は2021年に受診したとみられますが、2019年にはがん検診を受診した人の中には2020年と比べて2021年と比べて受診を控えた人も少なからず存在すると推測されます。がんをはじめとする疾病は、早期発見が鍵となっており、疾病予防の観点からも、コロナ禍においても健診は必要不可欠です。医療機関はコロナ対策を徹底しているため、今一度健診の重要性を認識し、ご自身の健康管理に役立ててほしいものです。



現在の受診に 対する意識は？

「健診・がん検診の受診意向についての質問で「控えたい」「やや控えたい」と回答した割合は2020年調査から減っているものの、「2022年度も控えたい」と回答した人が依然として約20%に達するといふ驚きの結果になりました。また、2021年度の受診率は前年度からやや増加していますが、全ての性別・年代で2019年の結果を下回っています。

コロナ禍でがん検診を控えていますか？



せんだい総合健診クリニック 院長 石垣洋子

「少しづつアフターコロナ、ウィズコロナのフェーズに入ってきましたので、今年はずいぶんがん検診を受けました。新型コロナウイルスの流行によって、健診・検診の受診者が減少した結果、がんの早期発見が遅れ、進行がんの方が増えています。日本のがんによる死亡は年間38万人に上り、宮城県でも毎年6千人余りの方ががんで亡くなっています。検診の遅れや未受診で仮に1%増加するだけで3800人の増加につながります。現在のがん検診は不要不急ではありません！新型コロナウイルスの流行が下火になった今こそ、健診・検診をしっかり受け自分の身体は自分で守っていきましょう！」



医療法人社団進興会

せんだい総合健診クリニック

住所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー 4F

TEL 022-221-0066(代表)

URL <https://www.sskclinic.jp/>

記事についてのお問い合わせ ☎022-221-1274